

## 新年のごあいさつ



公益社団法人  
鹿児島市歯科医師会 会長

下田平 幸一

新年あけましておめでとうございます。

鹿児島市医師会の先生方にとって、つつがなく新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年中は市医師会の先生方には、市歯科医師会の会員がいろいろとお世話になりましたこと心よりお礼申し上げます。

昨年最も大きな事は、元号の変わったことではないでしょうか。30年続いた平成が令和に変わりました。<平成最後の・・・>、<令和最初の・・・>というフレーズをよく耳にしました。気持ち的にも新しい時代がきたと感じました。令和の時代が平和で、地震や台風のない穏やかな時代になることを願っています。

明るい話題としてはラグビーワールドカップがありました。日本が初めてベスト8に残るという偉業をなしつづきました。私も学生時代はラグビーの早慶戦をテレビでよく見ていましたが、その後はほとんど興味はなかったのですが、今回久しぶりに楽しく観戦しました。

最近オーラルフレイルという言葉をよく聞くようになりました。口腔機能の低下がフレイルのきっかけとなります。しっかりと動くためには、しっかりと栄養をとらないといけない、その為にはしっかりと食べなければいけない。ですから口腔がしっかりと機能する

ことは、しっかり動くために必須の条件になります。食べにくくなったり、口が渴くようになったり、飲み込みにくくなったりなどの症状が出てくると、これを放置すると口腔機能低下症になります。口腔機能向上の運動を行うとまた元の状態に戻ります。お口の運動を行うと効果は上がるとは分かっているのですが、患者さんの理解が得られなかったり、保険の制約があつたのでなかなか広まらないのが現状です。医師会の先生方にもご理解いただき、市民に広めていただければ幸いです。

10月1日に消費税アップに伴い、初再診料が少しアップしました。また4月から診療報酬の改定があります。新聞では厳しい財源のもとマイナス改定といわれていますが、労組の春闘ではベースアップがあります。我々も三師会力を合わせてなんとかプラスに持っていかなければと思います。

最後に、鹿児島市医師会の先生方にとって本年がすばらしい良い年となりますよう祈念いたしまして、新年のあいさつとさせていただきます。